

関西貨物協議会 news

発行者：関西貨物協議会 大阪府大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 Tel 06-6358-1190
発行責任者：工藤 隆志 編集：國松 重浩 2023年 1月 1日 NO. 1

謹賀新年

議長 工藤 隆志
副議長 笹山 美津男
副議長 荻田 啓二
副議長 國松 重浩
副議長 大森 忠
副議長 佐藤 英和
副議長 奥尾 秀之
事務長 阪 惠 景一

新年のご挨拶
組合員とご家族の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

関西貨物協議会は、10月29日、第36回定期委員会を開催し、一年間の総括と労働条件改善、生活改善、平和と民主主義を守る闘い、最重要課題である組織強化・拡大を実現する闘いに向けて、向こう一年間の闘う活動方針を確立し、新役員体制となりました。

新型コロナウイルス感染症が発生して約3年が経とうとしていますが、いまだ終息に至っておらず、いつ感染してもおかしくない状況となっています。2023年の年明けも未だ予断を許さない状況が予想されるなか新年となります。

JR発足から35年が経過し、貨物会社の経営問題や会社間格差、並行在来線問題など安全輸送と地域公共交通の危機は深刻になり、国鉄分割・民営化の歪が至る所に表れている中で、貨物会社は、老朽設備の継承による長期債務、線路使用料とダイヤ調整問題など、抜本的な「構造矛盾」を解決せずに、経営計画を達成させるためには手段を選ばず、社員へと責任転嫁しています。

コロナ禍の影響は物価高騰を生み出し、厳しい生活を余儀なくされています。暮らしと家計を支える政治への転換こそが、日本経済を立て直すうえでも重要となっています。目先の利益を追求し続けてきた新自由主義が貧困と格差を拡大させています。

政治においても、コロナ対策、物価高騰対策、国葬問題、大軍拡と改憲を許さない闘いなど、重大な課題に対して、一方的な政府の姿勢を厳しく追及し、国民生活、産別、職場、地域の課題と要求を掲げ、大企業の内部留保を国民に還元させ、大幅賃上げによる生活改善と、憲法改悪を許さず、平和と民主主義を守る闘いが課題となっています。

関西貨物協議会は、貨物会社及び関連会社の労働条件改善、安全輸送確立、諸要求実現、生活改善、組織拡大の実現に向け、今後も予想される多くの課題に対して、関西貨物協議会もその先頭で奮闘することを決意し、今年も皆様にとって、より良い年なることを祈念し新春の挨拶といたします。本年も健康に留意しながら奮闘しましょう。どうぞ宜しくお願いします。

2023年元旦

関西貨物協議会 議長 工藤 隆志

近畿貨物協議会定期委員会開催

近畿貨物協議会は、11月27日(日)、国労大阪会館において36回定期委員会を開催しました。
 委員会議長には、小川委員(京都貨物駅)を選出し、議事を取計りました。定期委員会には、来賓として、近畿地方本部谷澤書記長、関西貨物協議会工藤議長が出席しました。討論では、委員全員が発言し、山中議長が集約を行い、2022年新役員を選出しました。



○ 出された主な意見

【保全】

- ・ 機動的保守体制により効率化されてきた。その影響は大きく、作業効率が非常に悪い状態となっている。機動的保守体制とは、何かを問いたい。
- ・ 多い出張や責任が重い業務、知識・経験がない中での業務がキツイという理由から今年4人が退職している。現地採用が必要となっている。

【駅】

- ・ 姫路(貨)信号業務で線閉取り扱いに対する教育、見習いが行われずに業務につかされている。現場長は勤務が回らないとし、仕事が優先といっている。安全より仕事という考えは危険。
- ・ 神戸(夕)での駅業務について、作業時間が厳しい状態であり、データをとり団交に上げていきたい。

【機関区】

- ・ 育児介護休業法改正にともない、対象者に対して、個別の周知、移行確認の措置が義務付けられているが、会社から全く何もない。説明はされないのか。

2022年度新役員

議長	山中 和也	大阪貨物(夕)駅
副議長	矢田 慎太郎	神戸貨物(夕)駅
副議長	林 太一	吹田機関区
事務長	荻田 啓二	京都貨物駅

広島貨物協議会定期委員会開催

広島貨物協議会は12月17日(土)広島ロードビルにおいて、第36回定期委員会を開催しました。

中間委員(中国ロジ第一営業所)を委員会議長に選出し、議事を取計りました。来賓として広島地方本部佐々木委員長、長尾執行委員、西日本本部大和執行委員、関西貨物協議会工藤議長が出席しました。委員全員が発言し、奥尾議長が集約を行い、2022年度新役員を選出しました。

○ 出された主な意見

【駅】

- ・ 長年にわたり遠距離通勤を余儀なくされていたが、11月1日に転勤となり、遠距離通勤が解消された。転勤から1カ月だが、前職場と現職場での作業取り扱いに違いがあり戸惑うことがある。

【車両所】

- ・ 車両所では、若い人が多くなっているが、制服が同じであり、ロジが直営化わからない。ロジ会社には入ってきててもやめていくものが多く、1年以内に退職するなら制服を買い取るようになっていく。

【ロジ】

- ・ 貨物会社からの評価制度導入要請を受け、貨物会社からの委託費が上がったが、実態は、ロジ会社の基本給は上がっているが、手当までは上がっていない。今後求めていくことが重要。

2022年度新役員

議長	奥尾 秀之	中国ロジコンテナ検修所
事務長	長尾 保宏	広島車両所

北陸貨物協議会定期委員会開催

北陸貨物協議会は11月19日(日)、粟津温泉のとやにおいて、第34回定期委員会を開催しました。

委員会議長には、五十嵐委員(富山地区操地区分会)を選出し、議事を取計りました。定期委員会には、来賓として、北陸地方本部太田書記長、西日本本部大和執行委員、関西貨物協議会工藤議長が出席しました。討論では、委員全員が発言し、熊野議長が集約を行い、2022年度新役員を選出しました。

2022年度新役員

議長	笹山 美津男	金沢貨物ターミナル駅
副議長	南 昭義	北陸ロジ南福井営業所
事務長	高橋 幸博	富山機関区
幹事	則島 昭範	北陸ロジ富山検修所
幹事	熊野 孝人	富山機関区
会計監査	若松 昭博	富山機関区

○ 出された主な意見

- ・ ロジの人事制度についてnお問題をどう扱うか?
- ・ 年末手当の回答時間は、常識的な時間とする交渉経過が守られていない。
- ・ フォークリフトの事象について、会社の追跡調査が行われており、原因究明というものはなく犯人捜しのようになっている。
- ・ 北海道新幹線、北陸新幹線の開業に伴い、どのように移行していくのか問題であり、北陸地区は第三セクターになり、貨物会社の列車体系に影響するところ、考えなければならぬ。
- ・ 国労が職場にいないければ労働条件から何か問題が多くある。国労の運動を広げるという事が必要。
- ・ 北陸出身の新規採用者がいない。地元採用に力を入れるよう求めてもらいたい。